

# 高度ICT利活用人材育成コンテンツ利用ガイド

(平成27年6月5日改訂第2版)

## 1. 本書の概要

- 本書について
- 本書の対象者

## 2. コンテンツの概要

- コンテンツの構成
- コンテンツの利用ルール

## 3. コンテンツの利用イメージ

- コンテンツの用途
- コンテンツのカスタマイズ

## 4. 研修コースの設計

- 研修コースの設計イメージ
- 自社教材と組み合わせた研修コースの設計

## 5. 参考資料

- 研修開催支援パッケージの詳細
- 育成カリキュラムの詳細
- 各研修フェイズでのコンテンツの利用時期
- 研修コース受講者の声

## 【添付資料】

- 研修開催支援パッケージ利用申込書
- 育成カリキュラム利用申込書

## ● 本書について

ICTを高度に利活用することで、企業、組織の生産性の向上や競争力の強化を図っていくことは、日本経済団体連合会の提言にもあるように、我が国において重要な課題です。

総務省では、このような社会的な背景を受けて、ICTを高度に利活用した経営戦略を立案、実施できる「高度ICT利活用人材」に着目し、同人材の育成支援のための環境や仕組みづくりとして「高度ICT利活用人材育成プログラム開発事業」を、平成23年度から平成25年度にかけて進めてきました。

－ 総務省 | ICT利活用の促進 | ICT人材の育成 ([http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/joho\\_jinzai/](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/joho_jinzai/))

本書は、これまでの事業で開発したカリキュラムやテキストなどの高度ICT利活用人材育成コンテンツ(以下、コンテンツと言う)を、適正かつ効果的に利用していただくために参照すべき事項についてとりまとめたものです。

また、「高度ICT利活用人材育成」の必要性和「高度ICT利活用人材育成プログラム開発事業」の目的、今後の展望については以下のURLをご参照ください。

－ クラウド&ビッグデータ時代のICT利活用ハンドブック ([http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000256038.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000256038.pdf))

## ● 本書の対象者

本書は、研修事業者、ベンダー、大学、専門学校、ユーザー企業、政府省庁、公共団体、専門家、学生など、コンテンツを利用するすべての方を対象にしています。

## 2. コンテンツの概要

### ● コンテンツの構成

コンテンツは、以下の2つがあります(詳細については「5. 参考資料」をご参照ください)

#### ー 研修開催支援パッケージ

研修コースの開催に必要なテキスト、指導要領、確認テストなどの各種ツールを収録したものの主な対象者) 研修事業者の方、教育機関の方、ユーザー企業の方、個人の方

研修開催支援  
パッケージ



#### ー 育成カリキュラム

研修事業者の方が、よりニーズや学習目標に応じた研修コースを設計する際のガイドとなる指針(主な対象者) 研修事業者の方、教育機関の方

育成カリキュラム

### ● コンテンツの利用ルール

コンテンツは、以下のルールを守っていただければ自由に利用していただくことができます

#### ー コンテンツを販売しないこと

テキストの販売など、コンテンツ自体の対価を請求しないでください。自社主催の研修コースなどで配付する場合には、印刷等に掛かる実費の請求のみをよろしくお願ひします。

#### ー コンテンツの第三者提供等について

本コンテンツは、高度ICT利活用人材の育成を目的として教育や研修事業(社内研修を含む)を実施する場合に限り活用できるものとし、それ以外の目的で第三者へ提供又は販売のために利用することはできません。

#### ー 利用状況に関する報告のお願い

総務省による今後の人材育成に役立てるため、研修コースでのご利用などコンテンツの利用状況について、総務省情報通信利用促進課宛に利用状況報告書の提出をお願いします(各種報告書の様式は、各コンテンツに収録されています)。利用年度の実績について、翌年度の4月15日までに送付してください。

#### ー 著作権を表示すること

コンテンツには著作権の表示がありますので、消さずに表示したまま利用してください。

Copyright (c) 2014 Ministry of Internal Affairs and Communications All Rights Reserved.

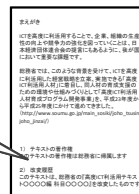


#### ー コンテンツの改変(カスタマイズ)利用について

コンテンツは原則、自由に改変していただけますが、以下についてご留意ください。

- ・研修開催支援パッケージ : テキストや指導要領など「研修開催支援パッケージ」の改変利用の状況については、報告の必要はございません。ただし、改変した旨をコンテンツの適切な位置に表示してください。
- ・育成カリキュラム : 改変した旨をコンテンツの適切な位置に表示してください。また、総務省による今後の人材育成に役立てるため、改変の都度、支障のない範囲で、総務省情報通信利用促進課宛に改変利用報告書及び改変したコンテンツの提出をお願いします。

例) このテキスト(又はカリキュラム)は、総務省の『高度ICT利活用テキスト(〇〇〇〇編 科目〇〇〇〇)』に改変を加えたものです。



### 【参考】

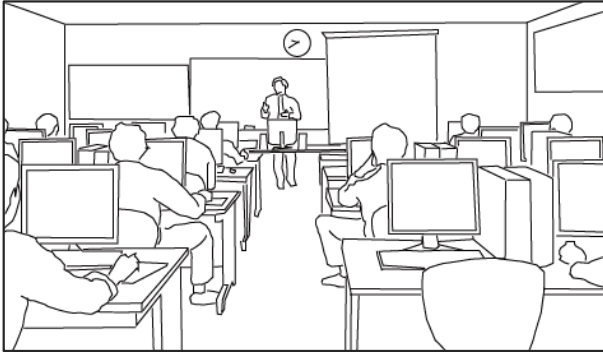
コンテンツ	利用ルール					
	販売	第三者提供	利用状況の報告	改変の報告	改変の表示	著作権の表示
研修開催支援パッケージ	不可	不可	必要	不要	必要	必要
育成カリキュラム	不可	不可	必要	必要	必要	必要

# 3. コンテンツの利用イメージ

## ● コンテンツの用途

テキストやカリキュラムは、ルールを守っていただければ、自由にご利用いただけます

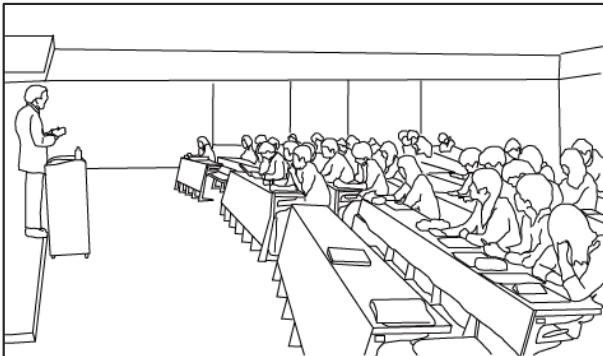
－ 自社主催の研修コースやセミナー



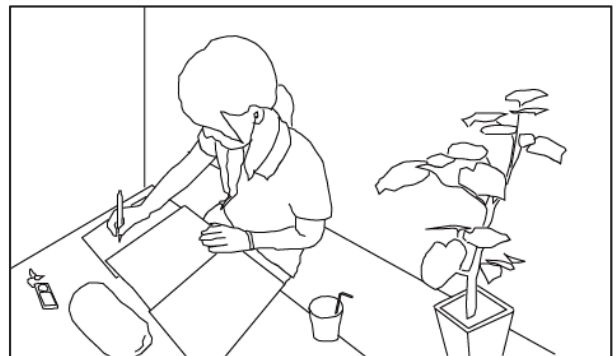
－ 社内教育や組織の勉強会



－ 大学の講義



－ 自己啓発



## ● コンテンツのカスタマイズ

テキストやカリキュラムは、利用される方の目的や環境に合わせて自由にカスタマイズしていただけます



所属部門の勉強会で利用したい  
情シスなので技術よりの内容を増やしていこう



大学の講義で使ってみたい  
もっとタイムリーなニュースを追記して学生にも実感がわくようにしよう



## 4. 研修コースの設計

### ● 研修コースの設計イメージ

研修コースは、利用される方のニーズに合わせて自由に設計することができます

#### ー 研修コースの設計イメージ(クラウド編)

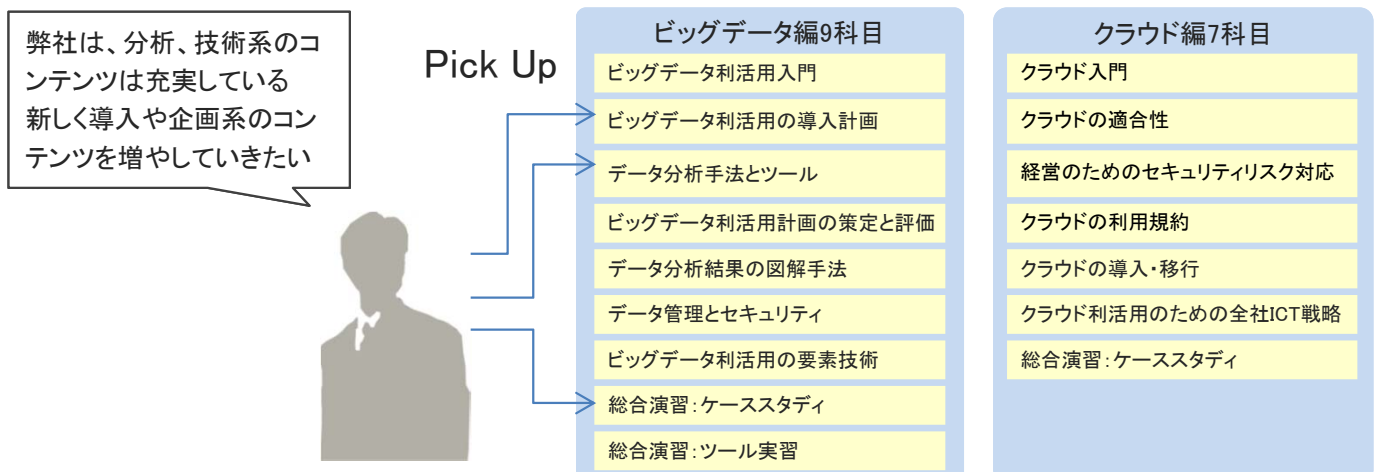
基本コース(2日間)	経営層向けコース(1日間)	経営層向けコース(半日×2日間)
<b>1日目</b> クラウド入門(90分) クラウドの適合性(90分) 経営のためのセキュリティリスク対応(90分) クラウドの利用規約(90分)	<b>1日目</b> クラウド入門(90分) 経営のためのセキュリティリスク対応(90分) クラウドの利用規約(90分) クラウド利活用のための全社ICT戦略(90分)	<b>1日目</b> クラウド入門(90分) 経営のためのセキュリティリスク対応(90分)
<b>2日目</b> クラウドの導入・移行(90分) クラウド利活用のための全社ICT戦略(90分) 総合演習: ケーススタディ(180分)		<b>2日目</b> クラウドの利用規約(90分) クラウド利活用のための全社ICT戦略(90分)

#### ー 研修コースの設計イメージ(ビッグデータ編)

基本コース(2日間)	経営層向けコース(1日間)	利活用部門向けコース(3日間)
<b>1日目</b> ビッグデータ利活用入門(90分) ビッグデータ利活用の導入計画(90分) データ分析手法とツール(90分) ビッグデータ利活用計画の策定と評価(90分)	<b>1日目</b> ビッグデータ利活用入門(90分) ビッグデータ利活用の導入計画(90分) ビッグデータ利活用計画の策定と評価(90分) データ管理とセキュリティ(90分)	<b>1日目</b> ビッグデータ利活用入門(90分) ビッグデータ利活用の導入計画(90分) データ分析手法とツール(90分) ビッグデータ利活用計画の策定と評価(90分)
<b>2日目</b> データ分析結果の図解手法(90分) データ管理とセキュリティ(90分) 総合演習: ケーススタディ(90分) 総合演習: ツール実習(90分)		<b>2日目</b> データ分析結果の図解手法(90分) データ管理とセキュリティ(90分) ビッグデータ利活用の要素技術(90分) 総合演習: ケーススタディ(90分)
		<b>3日目</b> 総合演習: ツール実習(360分)

### ● 自社教材と組み合わせた研修コースの設計

本コンテンツは、研修事業者の方がお持ちの教材等と組み合わせて研修コースを設計することもできます



## 5. 参考資料

### ● 研修開催支援パッケージの詳細

#### ー テキスト

育成カリキュラムの内容を具体化したスライド、内容の説明を記載したノートを取りまとめたもの

#### ー 指導要領

テキストに応じた説明の流れと指導のポイント、質問、時間の目安など、講師が円滑にコースを運営するための要領

#### ー 映像マニュアル

テキストや指導要領と一体的に活用でき、指導のポイントや進め方について示した講師用ビデオ教材

#### ー 各種ツール

受講者の習熟度を確認するための理解度確認テストや、受講者からの評価についてフィードバックをもらうためのアンケート票など研修コースの運営を助けるための各種ツール

### ● 育成カリキュラムの詳細

#### ー 教育課程

育成目標となる人材像、標準的な研修スケジュールなど、研修コースの設計にあたり参照することができる育成指針

#### ー 教材開発ガイドライン

教材を作成する際の留意点を取りまとめた教材開発指針

#### ー 指導ガイドライン

研修の具体的な指導内容や指導を行う際の留意すべき点などを取りまとめた指導要領の基となる指針

### ● 各研修フェイズでのコンテンツの利用時期

コンテンツ		研修フェイズ		
		コースの設計	講師の育成	コースの開催
研修開催支援パッケージ	テキスト	○	○	○
	指導要領	○	○	○
	映像マニュアル	○	○	—
	各種ツール	○	—	○
育成カリキュラム	教育課程	○	—	—
	教材開発ガイドライン	○	—	—
	指導ガイドライン	○	—	—

### ● 研修コース受講者の声

平成25年度に実施した、本コンテンツを利用した研修コースに参加された多くの受講者の方から高い評価を得ることができました。その際に寄せられたコメントの一部をご紹介します。

#### ○製造業／情報システム部門

「4年前にクラウド移行を担当していたが、当時はリファレンスやガイドがない中でやっていた苦しかった。演習は自分の経験なりを棚卸しできて、非常に勉強になった」

#### ○サービス業(ICT関連)／情報システム部門

「自分自身はインフラ担当であり、技術的なところに(関心が)いってしまいがちだが、契約ガバナンスの重要性について知ることができた」

#### ○サービス業(ICT関連)／マーケティング部門

「独学で学んできたことが体系立てられて学べた。ワークショップが一番よかった。あらゆる業種で経験を積まれた方から意見をいただいた。自部門から始めたい」

#### ○その他の業種・産業／マーケティング部門

「組織のあり方も大変参考になった。グループワークのケース題材に、WEBショッップが含まれていて、社でも検討課題だったので参考になった。自社で、こういうことを勉強してきたと、小さい勉強会をしたらいと思った」

#### ○その他の業種・産業／情報システム部門

「データの企画段階のプロセスがわかったことが収穫でした。分析データからどう読み取るかを訓練していきたい。会社に戻って、小さな事例からはじめて、ゆくゆくは全社を巻き込んでやっていきたい」

#### ○サービス業(ICT関連)／経営企画・事業(製品・サービス)開発部門

「分量も進みも早くて大変でした。帰ってから自分で調べたいと思った。データを活用していこうというミッションを会社で与えられているがどうしたらよいか悩んでいる。小さな分析でもやってみて、みせると興味がわくし、意見も出る。スモールスタートでもはじめて、周りを巻き込んでからはじめていけたらという、気付きをもらった」